

LC-QToF 利用手引き
「低分子物質の高分解能測定および定量」支援について

(ver. 1.0)

利用する上での注意点

合成品、天然物の高分解能測定は精製済みであることが必須です。
また既に分子量測定結果がある場合はご提出お願いします。
定量については現在のところアブシシン酸のみに限らせて頂きます。

研究支援の流れ

- ① 研究支援の事前連絡（貴研究室→当研究室）：目的、対象、サンプル数
- ② 事前打ち合わせ：必要情報、納期の確認など
- ③ 利用申請書提出（貴研究室→事務局）
- ④ 採択の連絡（事務局→貴研究室）、支援開始
- ⑤ サンプル提供（貴研究室→当研究室）：新規の場合はプレサンプル必須
- ⑥ 測定結果（当研究室→貴研究室）：定性データ（検出対象のArea 値）
*定量データ（サンプルあたりのmol 換算値）
- ⑦ 結果の解釈（貴研究室→当研究室）：データの解釈のフィードバック、論文化の相談

アブシシン酸定量の流れ

1. サンプル培養
2. サンプリング
3. 破碎・抽出
4. 分析：UPLC-タンデム四重極MS を用いたターゲット分析
5. データ解析
6. 結果の解釈
7. データ公開

注意点

1-3：当研究室ではサポート不可。また同一シリーズでは条件をそろえてください。

参考論文

アブシシン酸定量の場合は、測定方法が掲載されている論文が多数ありますのでご参照ください。もしくはご相談頂いても結構です。

費用負担

また、サンプル数に応じて溶媒等の購入をお願いすることがあります。

Authorship

成果発表の際には、共著をお願いいたします。また、Acknowledgments 等に以下の内容の文章の記載をお願いいたします。

(例) This research was supported by Japan Advanced Plant Science Network.

連絡先

asami@pgr1.ch.a.u-tokyo.ac.jp